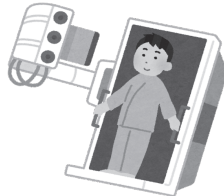
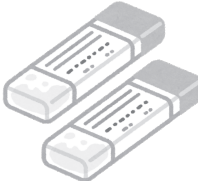


令和7年度 山県市各種がん検診のご案内

※対象及びクーポンの年齢は令和7年4月1日現在の年齢です。
※がん検診の無料クーポンは別途郵送します。届いたら必ずご確認ください。

がん検診には疾患の早期発見ができるメリットだけではなく、デメリットもあります。検診を受けるときにはメリット・デメリットを知った上で受診しましょう。
【メリット】早期発見・早期治療につながり、がんによる死亡率が低下する(継続的な受診が早期発見のカギになります)。
【デメリット】必ずがんを見つけれられるわけではない(偽陰性)。がんがなくても結果が「要精密検査」となる場合もある(偽陽性)。
※精密検査となった場合は必ず精密検査を受けましょう。その結果は医療機関を通して市町村に報告されています。

※死亡数 出典国立がん研究センター がん統計より

健(検)診種類		胃がん検診 ※死亡数第3位(2022)		大腸がん検診 ※死亡数第2位(2022)	結核・肺がん検診 ※死亡数第1位(2022)	乳がん検診 ※死亡数女性第4位(2022)	子宮頸がん検診 ※り患率が近年増加傾向
		レントゲン撮影(バリウム)	内視鏡検査(カメラ)				
対象年齢		40歳～84歳		40歳～84歳	40歳以上	30歳～84歳	20歳～84歳
受診を特に推奨する人		50歳～69歳		40歳～69歳	40歳～69歳	40歳～69歳	20歳～69歳
適正な受診間隔		1年に1回	2年に1回	1年に1回	1年に1回	2年に1回	2年に1回
検診期間	集団	6月～10月(別紙各種健(検)診日程) ※要予約					
	個別		6月～翌1月 ※要予約	6月～翌1月 ※岐北厚生病院は予約が必要		6月～翌2月 ※要予約	6月～12月 ※予約が必要な医療機関もあります。
自己負担金		1,000円	2,000円	500円	500円 65歳以上無料	1,500円	1,500円
無料クーポン券		40.45.50.55歳					20.24.40.45.50.55歳
検診内容		胃部レントゲン検査(バリウム)	【集団検診】 経鼻 (鼻から)の胃カメラ 【個別検診】 経鼻 (鼻から)または 経口 (口から)の胃カメラ ※医療機関により異なります。	便潜血検査 (自宅で2日分便を採る)	胸部のレントゲン(検診車)	乳房のレントゲン撮影(マンモグラフィ)・ 超音波検査	内診・子宮頸部の細胞診 (綿棒のようなものでこすって採取)
検診結果	集団	郵送(受診日から1か月程度で結果を通知します。)					
	個別		手渡しまたは郵送	手渡しまたは郵送		郵送	手渡しまたは郵送
精密検査の方法		胃内視鏡検査による細胞診等		全大腸内視鏡検査(第一選択)	CT検査・気管支鏡検査	マンモグラフィの追加撮影・超音波検査・穿刺吸引細胞診・針生検	コルポスコープ下の組織診・細胞診・HPV検査などを組み合わせ実施
持ち物		①受診票(名前シールを貼り、事前に問診を記入) ②自己負担金(おつりが出ないようにご協力お願いします) ③健康管理手帳(集団検診のみ) ④名前シール					
注意事項		・検診に望ましい服装は、無地のTシャツです。(色は何色でも可) ※スタッフが安全に検診を実施することが難しいと判断した場合(誤嚥・検査台からの転落のリスクあり等)は受診をお断りすることがあります。 	【集団検診】 ・検診の結果、精密検査が必要(細胞を採って確認)な場合、別日に改めて口からの胃カメラで精密検査が必要です。 ・検査当日の服薬に不安のある人は、主治医に確認の上、検査前内服するか検査後内服するかの指示を受けてください。 【個別検診】 ・ご希望の医療機関を予約し、事前準備や注意事項について説明を受けてください。 ・鎮静剤を使用した場合、検診日(検診後)は自動車やバイク、自転車の運転はしないでください。	・生理中の便は避けてください。 ・胃バリウム検査を受けられた場合は、便の状態が通常に戻ってから排便をしてください。	・結核・肺がん検診は、集団検診(検診車)のみです。 ※医療機関での検診はありません。 ・レントゲン撮影に望ましい服装は、無地のTシャツです。(色は何色でも可) 	・検診に必要なケープは会場で貸し出します。 ・ワンピース等をさけて、上下が分かれる脱ぎ着しやすい服装でお越しください。 ※40歳のみ封筒にクーポン券を同封しています。	【集団検診】 ・検診受診の際は、スカートでお越しください。 ※20歳のみ封筒にクーポン券を同封しています。 
		【検診前日】 ・夕食は夜9時までに済ませ、お酒・タバコは控えてください。 ・のどが渴いたら、コップ1杯程度の水やお湯は飲んでいただいてもかまいません。 【検診当日】 ・朝も飲食はしないでください。朝の目覚めの時、コップ1杯程度の水やお湯は飲んでいただいてもかまいません。 ・タバコは検診終了後まで控えてください。 ・検診会場でどうしても喉が渇くような場合はスタッフにご相談ください。 ・心臓や血圧のお薬を服用している人は、朝7時までに飲んでください。 ・当日朝の糖尿病薬は飲まず、インスリン注射は打たずにお越しください。検診後、主治医の指示に従い薬を使用してください。	採便容器について 【集団検診】 ・ 専用の採便容器を郵送しています。 まだお申し込みされていない人は健康介護課へ電話にてご連絡ください。 ・ 検診日前1週間以内 の便を採り、採った容器は涼しいところで保管してください。 【個別検診】 ・ 専用の採便容器は、事前に希望の医療機関で受け取ってください。(医療機関によって異なります。) ・便を採った容器の提出日・提出時間・注意事項は、検診医療機関で確認してください。 	＜検診をお断りする人＞ ・妊娠中または妊娠していると思われる人 ・スタッフが安全に検診を受診することが難しいと判断した人(数分間1人で立っていることが困難である等) ＜検診をお断りする場合がある人＞ ・インスリンポンプや持続血糖測定器を装着している人 ＜喀痰検査＞ 喫煙など肺がんの危険度が高い場合、レントゲン撮影にあわせて痰の検査も実施できます。 ・自己負担金600円(うち容器代200円、検査未実施でも容器代の返金はできません) ・希望する場合は検診の間診時にお申し出ください。 喀痰検査のみの実施はできません。	＜検診をお断りする人＞ ・妊娠中または妊娠していると思われる人 ・豊胸手術をしている人 ・医療機器が前胸部に入っている人(ペースメーカー、V-Pシャント、CVポート埋め込み等) ・授乳中の人(精度管理の観点からお勧めしていません) ・乳房再建術をしている人 ＜検診をお断りする場合がある人＞ ・インスリンポンプや持続血糖測定器を装着している人 	＜検診をお断りする場合があります＞ ・生理中の人は検診はできません。(細胞診の判定に影響するため) ・性交渉の経験のない人は、検診を実施できない場合があります。(検査時に出血や苦痛を伴う場合があります。そのため、集団検診ではなく医療機関での検診をお勧めします。ただし、性交経験のない人は子宮頸がん検診のり患リスクが極めて低いと言われていることから、医療機関によっては検診の必要性はないと判断する場合もありますので、ご了承ください。)	
		＜検診をお断りする場合がある人＞ 【バリウム検査】 ・酸素吸入治療をしている人 ・過去の検診でバリウムを飲んでむせ、誤嚥(誤って気管へ入る)したことがある人 ・脳血管障害などで嚥下障害(飲み込めない)がある人 ・検査時の寝返りなど体位変換が自分でできない人 ・手足に麻痺がある人 ・心不全や人工透析などで水分制限がある人 ・頑固な便秘の人 ・インスリンポンプや持続血糖測定器を装着している人 ・腸捻転、腸閉塞の既往歴がある人 ・1年以内に胃や腸の手術をした人	【バリウム・胃カメラ検査共通】 ・胃疾患で治療中の人、胃全摘術後の人 ・呼吸不全、心臓病(急性心筋梗塞・不整脈)のある人 ・妊娠中または妊娠していると思われる人 ・血圧が極めて高めの人 【胃カメラ検査】 ・出血傾向のある人 ・のどや鼻に重篤な疾患があり、胃カメラが通らない人				

***令和8年度より、適正な受診間隔が2年に1回と定められているがん検診(胃カメラ・乳・子宮頸がん)においては、毎年**の受診ができなくなります。

該当のがん検診(胃カメラ・乳・子宮頸がん)における令和8年度の対象者(受診可能な方)については、令和8年度の健(検)診希望調査書の案内(令和8年1月頃に送付予定)等にて掲載します。